

# 協立病院だより



Kyoritsu Hospital News  
2021 7月号  
No.169

ごあいさつ



院長 玉木 千里

「デジタル改革関連法案」が4月6日衆院本会議で可決され、この原稿を書いている時点（5月5日）では参議院で審議中となっていました。しかしこの法案の中身、非常に国民にとってわかりにくく思いませんか？

この法案は、首相をトップとするデジタル庁を新設し、省庁や各自治体でばらばらだった個人情報保護のルールやシステムを共通化させていくことを謳っています。この法改正のきっかけの一つは、特別定額給付金などの公的な給付金の手続きが滞ったことです。

しかしこの法案、63本もの新法や改正案が一気に束ねられており、衆院内閣委員会での審議時間は、参考人質疑も入れてたったの27時間25分。野党や日本弁護士連合会、市民団体より政府に対して28項目もの付帯決議がついていました。

また、9月のデジタル庁設置に間に合わせるために、「霞が関の常識を超えたスピード」（デジタル改革担当大臣、平井氏）で法案の作成が進められた結果、国会提出後に要綱などに計45カ所の誤りが発見したことでも記憶に新しいでしょう。

専修大学の山田健太教授は、「法案は「オーブン・透明」「公平・倫理」「安全安心」という三つの原則が骨抜きになっている」今回の法律の大きな目的は情報の利活用だ。（中略）だが、その際の大前提是、政府がやっていることの

「見える化」、そして国民の政府への信頼だ。しかし、現状は情報公開をおろそかにしている側

面が強く、公文書の改ざんや隠蔽（いんぺい）や廃棄が起きている。新型コロナウイルス対策のアプリの契約も不透明だ。「オープン・透明」の原則とはかけ離れている。』と指摘しています。

この法案の根幹となるのが、マイナンバーカードの普及です。政府は「人に優しいデジタル化」「誰一人取り残さない」など、耳触りの良いスローガンを並べて、国民にマイナンバーカード取得を呼びかけています。しかし、山田教授の言うように、コロナ対策だけをとっても政府は国民に対して極めて不透明で不誠実な対応をとってきた歴史があります。しかし、本法案が可決されれば、個人情報保護は最低レベルの基準で定められた国の法律に格下げられてしまうのです。政府は、個人情報保護の監督を担うことにによる「個人情報保護委員会」の機能を強化すると言っていますが、先般「LINE（ライン）」の情報漏えい問題が起きた際も、この委員会の初期対応が遅れたと国会で批判されており、全く信用が置けません。

現政府は日本学術会議の任命拒否問題にみられるように、憲法で保障している学問の自由や法律によって定められたルールを平気で無視するような政府です。このような政府によって本業によって私達の大切な税金が中抜きされることはないのか。デジタル化の裏に潜む

職員間でZOOMのアプリをダウンロードして、実際に個人のスマホを使って、体験しました。参加の方もZOOMアプリをダウンロードしてもらい、懇談会当日までにZOOM接続の作動確認も行いました。

1回目は「子どものコロナウイルス感染症」をテーマに、玉本医師から感染経路、成人との症状の比較、手の洗い方、ウイルスによる関連健康被害、咳エチケットの話をしました。

2回目も「はじめての子育て」をテーマに発熱について玉本医師から、けいれん、熱性けいれん、病院に行く日安などの話をしました。

自宅からの参加なので、子どもさんもご機嫌で、気軽に参加していただくことができ、ぐすり出されても、画像をOftenにして参加することもできます。顔出しNGの方も、チャット機能を使用して会話もできるので安心して参加できます。はじめての取り組みでしたが、2回の医療懇談会を開催することが出来ました。保護者の方から沢山の良い感想をいただき好評でした。このような状況がいつまでも続くか分かりませんが、今まで起きる事、このような状況だからこそ出来ることを今後も考え、今後も患者様の満足度向上につながる取り組みを行っていきたいと思います。

次回は、6月に第3回目となるZOOMの医療懇談会を予定しています。ぜひ、ご参加下さい。



## コロナ禍での小児科の取り組み



昨年度は新型コロナ感染症の影響で通常は院内で行っている医療懇談会を実施することが困難になりました。そこで、初めてZOOMでの医療懇談会を計画しました。

職員間でZOOMのアプリをダウンロードして、実際に個人のスマホを使って、体験しました。参加者の

方もZOOMアプリをダウンロードしてもらい、懇談会当日までにZOOM接続の作動確認も行いました。

1回目は「子どものコロナウイルス感染症」をテーマに、

玉本医師から感染経路、成人との症状の比較、手の洗い方、ウイルスによる関連健康被害、咳エチケットの話をしました。

2回目も「はじめての子育て」をテーマに発熱について玉

本医師から、けいれん、熱性けいれん、病院に行く日安などの話をしました。

自宅からの参加なので、子どもさんもご機嫌

で、気軽に参加していただくことができ、ぐすり出されても、画像をOftenにして参加することもできます。顔出しNGの方も、チャット機能を使用して会話もできるので安心して参加できます。

はじめての取り組みでしたが、2回の医療懇談

会を開催することが出来ました。保護者の方から沢山の良い感想をいただき好評でした。このよう

な状況がいつまでも続くか分かりませんが、今で

きる事、このような状況だからこそ出来ることを今後も考え、今後も患者様の満足度向上につながる取り組みを行っていきたいと思います。

次回は、6月に第3回目となるZOOMの医療懇談

会を予定しています。ぜひ、ご参加下さい。

## Dr. コラム

### 「腰椎(胸椎) 圧迫骨折」



辻 信宏  
(整形外科  
(一般整形  
スポーツ医学))

整形外科の辻です。  
背骨の中でいわゆる背中にあるものを胸椎（12個あります）腰にあるのを腰椎（5個）と呼びます。

### 【症状】

仰向けに仰けたり、じりもわをついたりすること、背骨の椎体（ついたい）という缶詰のような形をした部分にヒビが入ったりつぶれたりする骨折のことです。骨がもろくなっている（骨粗しょう症）と、植木鉢やイスを持ち上げただけでも起じることがあります。腰の痛みのために全く動けないこともありますが、ちょっと腰が痛いとおしゃられて、歩いて病院に来られる方もいらっしゃいます。割れた骨が背骨の中を通る神経に当たると、脚がしびれたり、力が入りにくくなることもあります。

### 【診断】

レントゲンやCT（放射線を使った断層撮影）でヒビや変形がわかれれば診断ができますが、MRI（磁気を使った断層撮影）という検査が必要なこともあります。それがなくても、他の条件から疑いが濃ければ骨折としての治療を始めます。

とりでお暮しの方は、入院が2か月前後になることがあります。最近はセメントを骨折部に注入して固めるという簡単な手術ができる病院もあります。

## 京都協立病院



公益社団法人  
京都保健会



ISO 9001認証取得

TEL (代 表) 0773-42-0440  
(小児科直通) 0773-42-0025

<https://www.kyoto-kyoritsu.org/>

発行：京都協立病院広報委員会

